

## (21) 0歳～2歳の子を持つ夫婦のいる一般世帯のうち妻の就業割合 54.0%

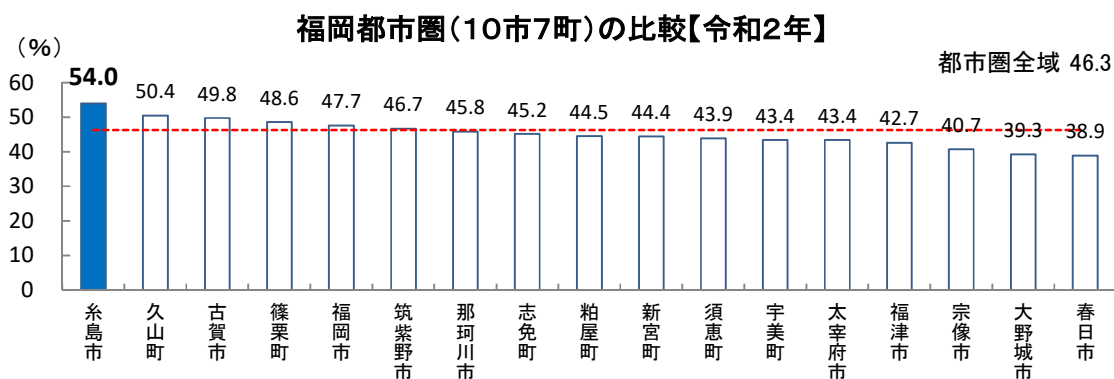
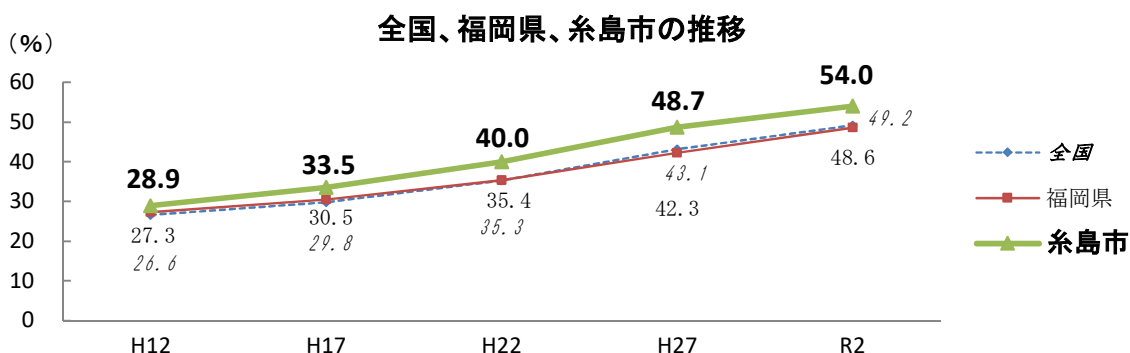
### 指標の説明

「0～2歳の子を持つ夫婦のいる一般世帯のうち妻の就業割合」とは、0～2歳の子どもがいる夫婦のいる一般世帯のうち、妻が就業している世帯の割合で、女性活躍推進や子育て支援行政の指標として用いられる。  
 「0～2歳」というのは、子どもの数に関わらず、最年少の子どもの年齢を指す。

### 指標の算出根拠 基礎データの資料

就業割合＝①0歳～2歳の子どもがいる夫婦のいる一般世帯のうち、妻が就業者である世帯÷②0歳～2歳の子どもがいる夫婦のいる一般世帯×100  
 【①：971世帯、②：21,798世帯（令和2年・糸島市）】  
 ※平成12年及び17年は、1市2町の合算値。

資料：総務省統計局「国勢調査」



### 統計データ(グラフ) から見る市の動向

令和2年の糸島市の0～2歳の子を持つ夫婦のいる一般世帯のうち妻の就業割合は54.0%。  
 平成12年以降で見ると、15年間で25.1ポイント増加している。  
 また、全国の49.2%と比べ4.8ポイント、福岡県の48.6%と比べ5.4ポイント高い。  
 福岡都市圏内では、全17市町のうち最も高い。

※福岡都市圏全域の0～2歳の子を持つ夫婦のいる一般世帯のうち妻の就業割合は46.3%

※福岡都市圏10市7町の0～2歳の子を持つ夫婦のいる一般世帯のうち妻の就業割合の単純平均は45.3%

## (22) 3歳～6歳の子を持つ夫婦のいる一般世帯のうち妻の就業割合 70.0%

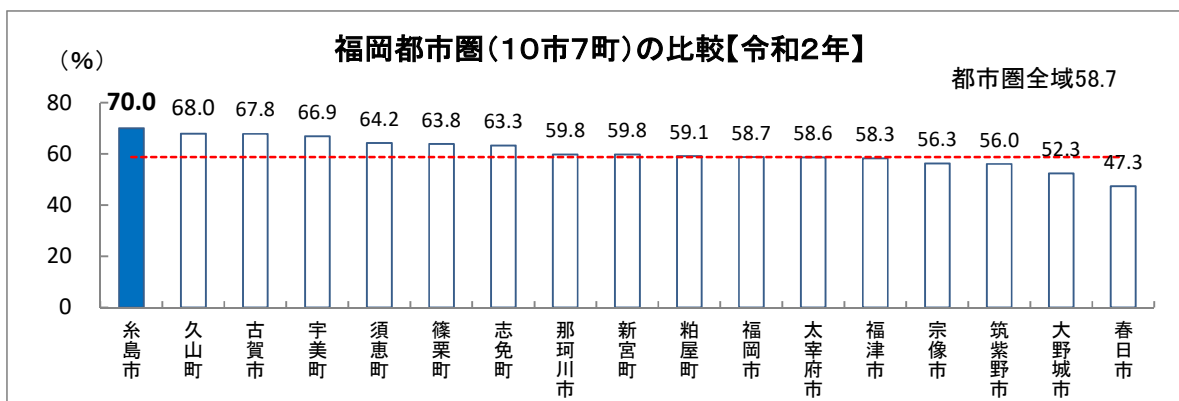
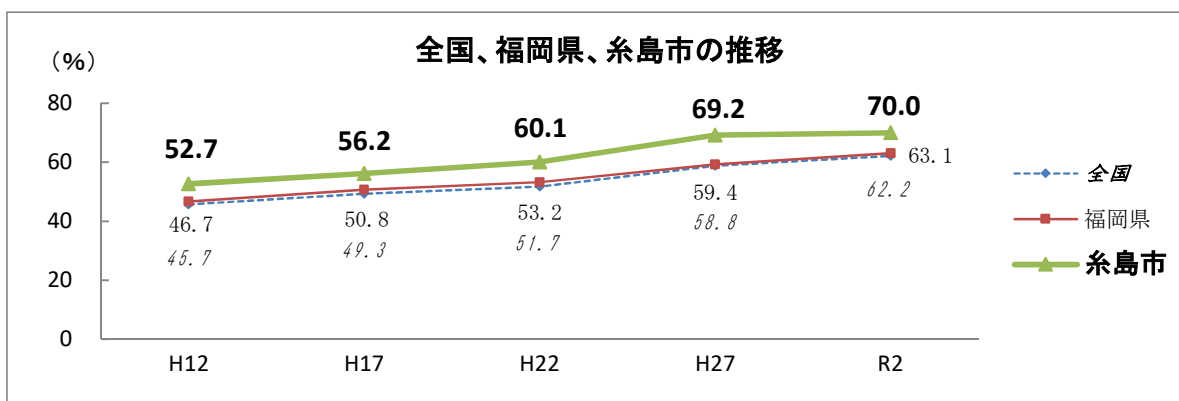
### 指標の説明

「3～6歳の子を持つ夫婦のいる一般世帯のうち妻の就業割合」とは、3～6歳の子どもがいる夫婦のいる一般世帯のうち、妻が就業している世帯の割合で、女性活躍推進や子育て支援行政の指標として用いられる。  
 「3～6歳」というのは、子どもの数に関わらず、最年少の子どもの年齢を指す。

### 指標の算出根拠 基礎データの資料

就業割合＝①3～6歳の子どもがいる夫婦のいる一般世帯のうち、妻が就業者である世帯÷②3歳～6歳の子どもがいる夫婦のいる一般世帯×100  
 【①：1,309世帯、②：1,870世帯（令和2年・糸島市）】  
 ※平成12年及び17年は、1市2町の合算値。

資料：総務省統計局「国勢調査」



### 統計データ(グラフ) から見る市の動向

令和2年の糸島市の3～6歳の子を持つ夫婦のいる一般世帯のうち妻の就業割合は70.0%。  
 平成12年以降で見ると、10年間で17.3ポイント増加している。  
 また、全国の62.2%と比べ7.8ポイント、福岡県の63.1%と比べ6.9ポイント高い。  
 福岡都市圏内では、全17市町のうち最も高い。

※福岡都市圏全域の3～6歳の子を持つ夫婦のいる一般世帯のうち妻の就業割合は58.7%

※福岡都市圏10市7町の3～6歳の子を持つ夫婦のいる一般世帯のうち妻の就業割合の単純平均は60.6%

## (23) 幼稚園利用率 70.7%

### 指標の説明

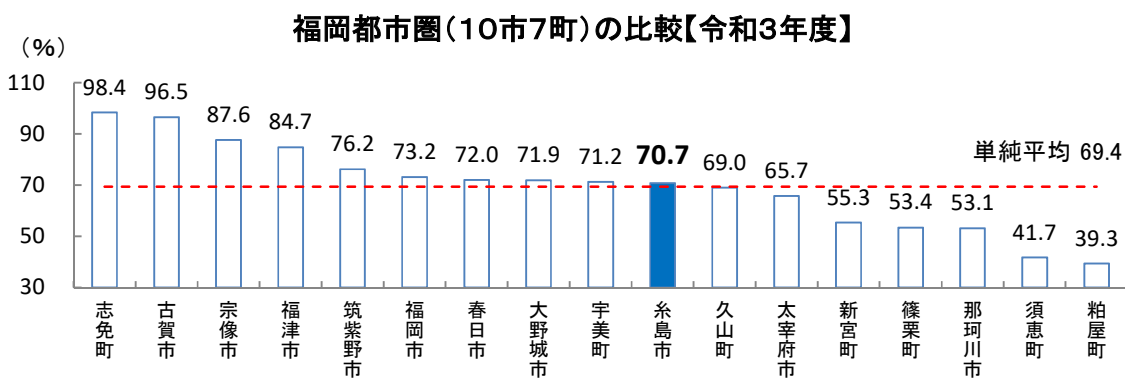
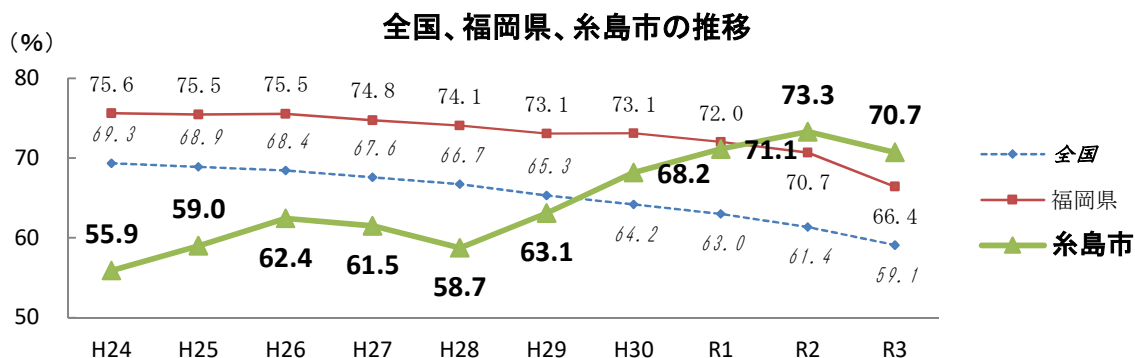
「幼稚園利用率」とは、幼稚園の定員に対する在園者数の割合で、教育行政に係る指標として用いられる。

### 指標の算出根拠 基礎データの資料

幼稚園利用率＝在園者数÷定員数

【在園者数：909人、定員数：1,285人（令和3年度・糸島市）】

資料：文部科学省生涯学習政策局「学校基本調査報告書」



### 統計データ(グラフ) から見る市の動向

令和3年度の糸島市の幼稚園利用率は、70.7%。平成24年度以降、増減を繰り返し、平成28年度以降は増加傾向にあったが、令和3年度は減少している。平成24年度からの10年間で14.8ポイント増加している。

また、全国の59.1%と比べ11.6ポイント高く、福岡県の66.4%と比べ4.3ポイント高い。

福岡都市圏内では、全17市町のうち8番目に低い。

※福岡都市圏全域の幼稚園利用率は73.3%

※福岡都市圏10市7町の幼稚園利用率の単純平均は69.4%

## (24) 保育所利用率 96.2%

### 指標の説明

「保育所利用率」とは、保育所の定員に対する在り者数の割合で、子育て支援サービスなどの厚生労働行政に係る指標として用いられる。

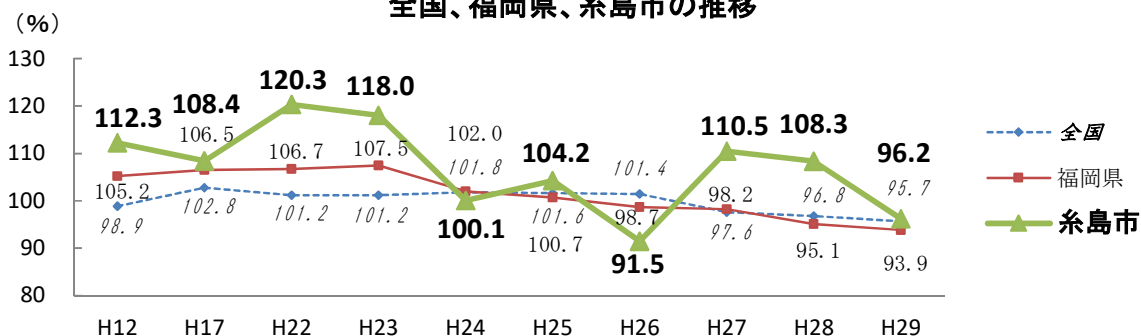
### 指標の算出根拠 基礎データの資料

保育所利用率＝在り者数÷定員数

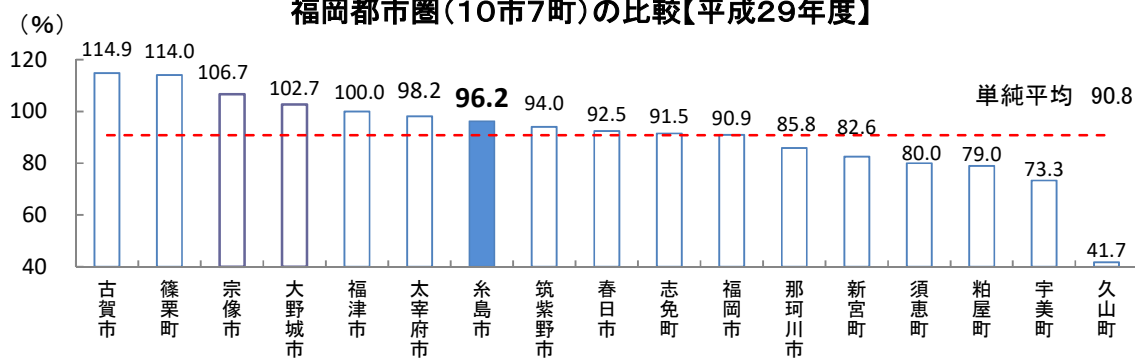
【在り者数：2,367人、定員数：2,460人（平成29年度・糸島市）】

資料：厚生労働省大臣官房統計情報部「社会福祉施設等調査報告」  
※調査に対する回答施設のみの集計による。

全国、福岡県、糸島市の推移



福岡都市圏(10市7町)の比較【平成29年度】



### 統計データ(グラフ) から見る市の動向

平成29年度の糸島市の保育所利用率は、96.2%。平成12年度以降で見ると、増減を繰り返しており、17年間で16.1ポイント減少している。  
また、全国の95.7%と比べ0.5ポイント、福岡県の93.9%と比べ2.3ポイント高い。  
福岡都市圏内では、全17市町のうち7番目に高い。

※福岡都市圏全域の保育所利用率は92.4%

※福岡都市圏10市7町の保育所利用率の単純平均は90.8%

## (25) 小学校児童数 15.3人 (教員一人当たり)

### 指標の説明

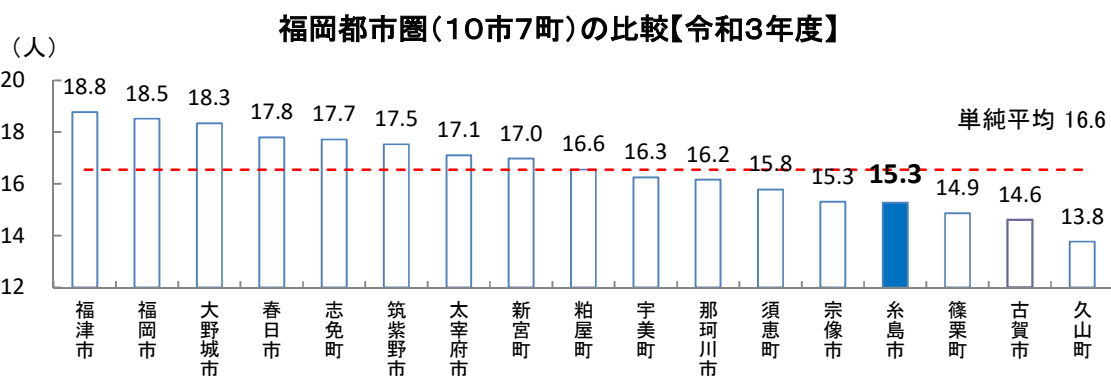
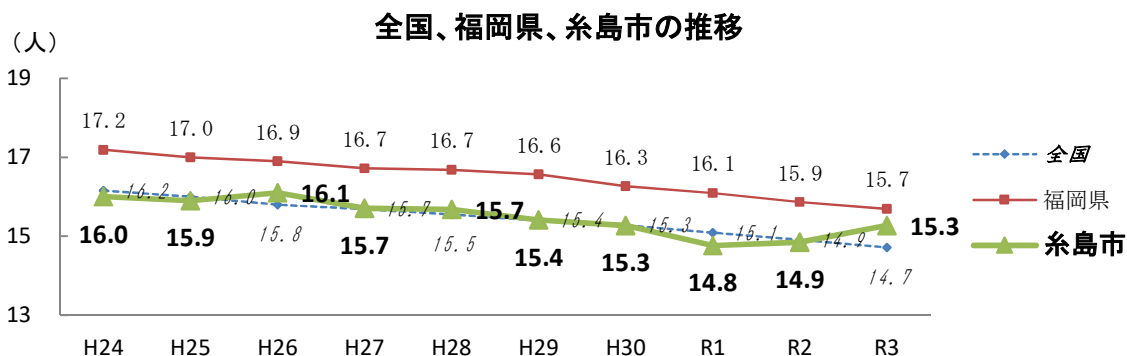
「小学校児童数（教員一人当たり）」とは、本務教員総数に対する児童総数の割合で、学級編制や教員定数など、教育行政に係る指標として用いられる。

本務教員：当該学校に籍のある常勤教員。

### 指標の算出根拠 基礎データの資料

小学校児童数（教員一人当たり）＝児童総数÷教員総数（本務教員）  
【児童総数：5,927人、教員総数：388人（令和3年度・糸島市）】

資料：文部科学省生涯学習政策局「学校基本調査報告書」



### 統計データ(グラフ) から見る市の動向

令和3年度の糸島市の小学校児童数（教員一人当たり）は、15.3人。平成24年度以降で見ると減少傾向で推移しているが、令和2年度より微増し、増加に転じた。

また、全国の14.7人より0.6人多く、福岡県の15.7人と比べ0.4人少ない。福岡都市圏内では、全17市町のうち4番目に少ない。

※福岡都市圏全域の小学校児童数(教員一人当たり)は17.7人

※福岡都市圏10市7町の小学校児童数(教員一人当たり)の単純平均は16.6人

## (26) 中学校生徒数 12.9人 (教員一人当たり)

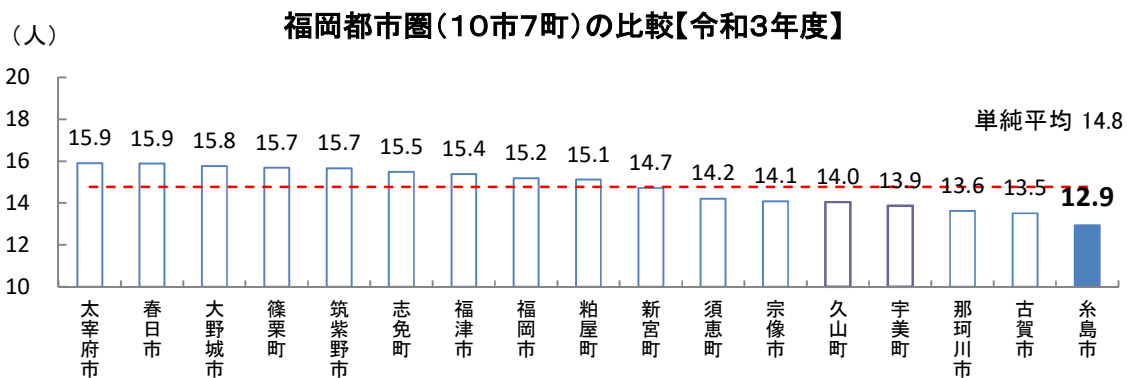
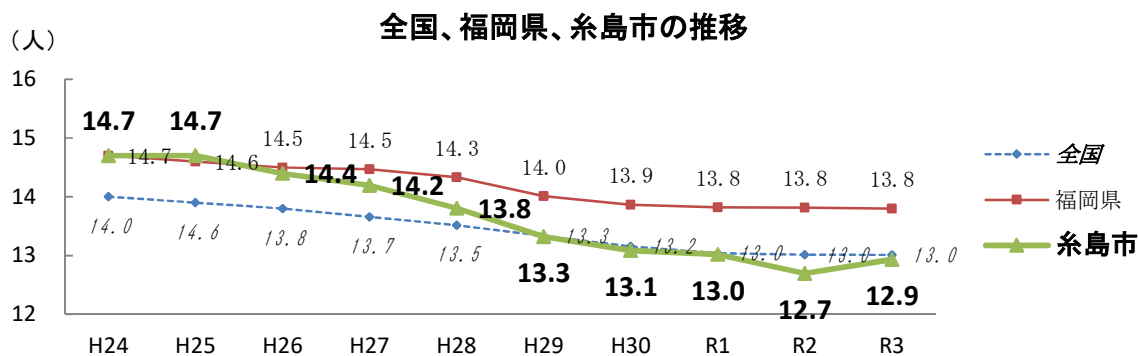
### 指標の説明

「中学校生徒数（教員一人当たり）」とは、本務教員総数に対する生徒総数の割合で、学級編制や教員定数など、教育行政に係る指標として用いられる。

### 指標の算出根拠 基礎データの資料

中学校生徒数（教員一人当たり）＝生徒総数÷教員総数（本務教員）  
【生徒総数：2,884人、教員総数：223人（令和3年度・糸島市）】

資料：文部科学省生涯学習政策局「学校基本調査報告書」



### 統計データ(グラフ) から見る市の動向

令和3年度の糸島市の中学校生徒数（教員一人当たり）は、12.9人。平成24年度以降以降ほぼ横ばいで推移していたが、平成26年度からは減少傾向にあり、10年間で1.8人減少している。

また、全国の13.0人より0.1人少なく、福岡県の13.8人と比べ0.9人少ない。福岡都市圏内では、全17市町のうち最も少ない。

※福岡都市圏全域の中学校生徒数（教員一人当たり）は15.0人

※福岡都市圏10市7町の中学校生徒数（教員一人当たり）の単純平均は14.8人

## (27) 蔵書数 3.02冊 (人口一人当たり)

### 指標の説明

「蔵書数」とは、図書館が利用者に提供するすべての図書館資料の数で、図書館行政に係る指標として用いられる。

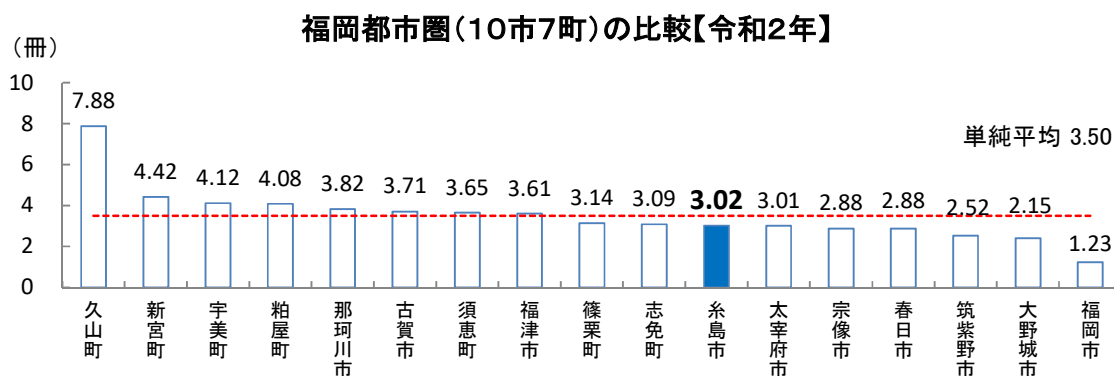
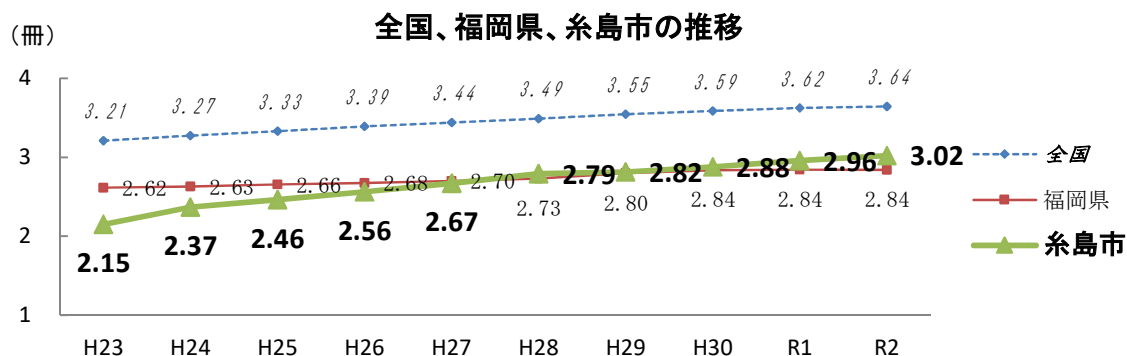
なお、ここでいう蔵書数は、図書館法に基づき地方公共団体が設置した公立図書館の蔵書数を指し、公立公民館や私立図書館は含まない。

### 指標の算出根拠 基礎データの資料

**蔵書数 (人口一人当たり) = 蔵書数 ÷ 人口総数**

【蔵書数：299,008冊、人口総数：98,945人 (令和2年・糸島市)】

資料：(社)日本図書館協会「日本の図書館 統計と名簿」  
福岡県公共図書館等協議会「福岡県公共図書館等概況」  
総務省統計局「人口推計」「国勢調査報告」  
福岡県調査統計課「福岡県の人口と世帯年報」



### 統計データ(グラフ) から見る市の動向

令和2年の糸島市の蔵書数(人口一人当たり)は、3.02冊。平成23年以降で見ると、一貫して増加しており、10年間で0.87冊増加している。

また、福岡県の2.84冊と比べ0.18冊多い。

福岡都市圏内では、全17市町のうち7番目に少ない。

※福岡都市圏全域の蔵書数(人口一人当たり)は1.99冊

※福岡都市圏10市7町の蔵書数(人口一人当たり)の単純平均は3.50冊

## (28) 市民一人当たりの図書貸し出し冊数 4.7冊

### 指標の説明

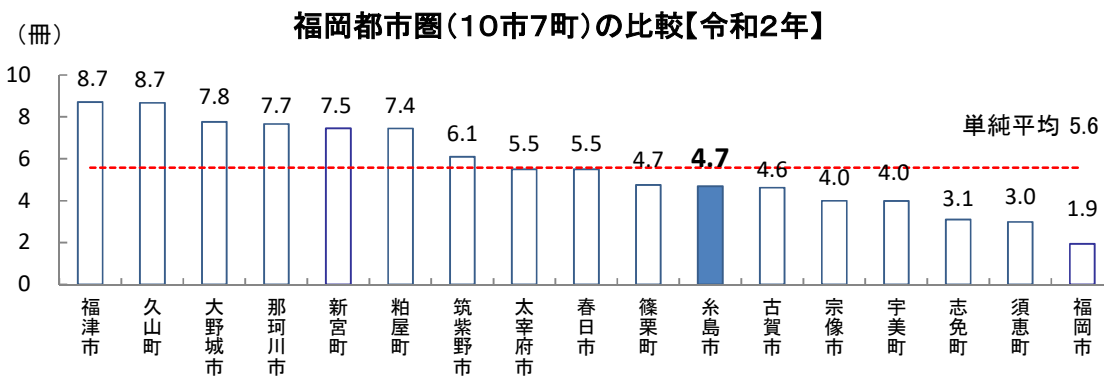
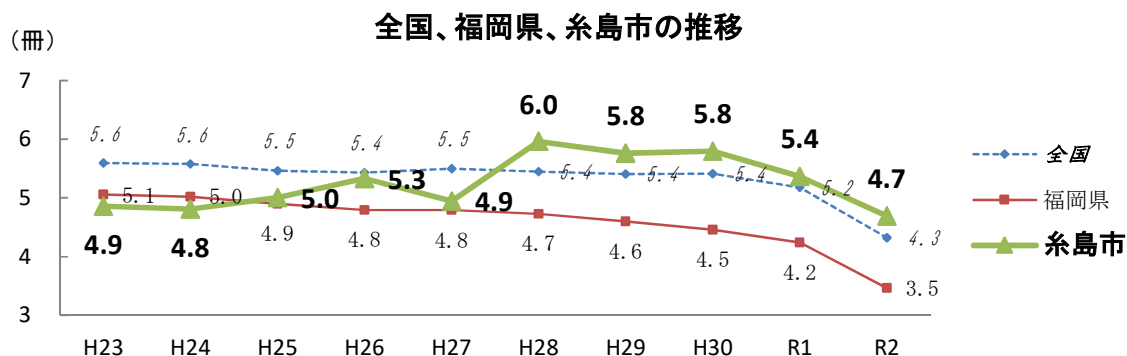
「図書貸し出し冊数」とは、図書館が利用者に対して貸し出した図書館資料の数で、図書行政に係る指標として用いられる。

なお、ここでいう貸し出し冊数は、図書館法に基づき地方公共団体が設置した公立図書館の貸し出し冊数を指し、公立公民館や私立図書館は含まない。

### 指標の算出根拠 基礎データの資料

貸し出し冊数(人口一人当たり) = 図書貸し出し冊数 ÷ 人口総数  
【貸し出し冊数464,261冊、市民数98,945人(令和2年・糸島市)】

資料：(社)日本図書館協会「日本の図書館 統計と名簿」  
福岡県公共図書館等協議会「福岡県公共図書館等概況」  
総務省統計局「人口推計」  
福岡県調査統計課「福岡県の人口と世帯年報」



### 統計データ(グラフ) から見る市の動向

令和2年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、全国の図書館において長期間の休館及び利用制限の措置が取られ、貸し出し冊数は大幅に減少している。

糸島市の市民一人当たりの図書貸し出し冊数は4.7冊。

福岡都市圏内では、全17市町のうち7番目に少ない。

※福岡都市圏全域の市民一人当たりの図書貸し出し冊数は3.4冊

※福岡都市圏10市7町の市民一人当たりの図書貸し出し冊数の単純平均は5.6冊